

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス りーふ		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 10日		～ 2026年 2月 13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	2026年 1月 10日		～ 2026年 2月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	全般的に丁寧な支援を行っております。	手洗いを到着時、おやつ前、食事前、必要な時に適時、手洗いを徹底して行っております。	長期休みには週2回体育館を借り、お子さんお一人お一人の状況に合った体操、ストレッチ、運動を行っております。
2	人気の遊びは時間を決めて、順番に遊び、公平に遊べるように努めております。	お子さんの興味を刺激する様に、出来ること、楽しめることを増やせる様に様々なことに挑戦できるように努めて、提供しております。	お子様の興味のあるもの、お子様の相性で、遊びを分け、同じ空間に共存しながら、落ち着いて過ごせるようにしております。
3	1人1人に丁寧に向き合っており、発語や自立して取り組めることをスモールステップを踏んで増やしています。	話せる言葉を増やす為に、丁寧に繰り返し発声出来るように努め、結果が得られております。	引き続き、場面に合った言葉やご本人にとってわかりやすい支援を続けていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	お子さんの持病で横になって休まれるスペースが必要で長期休みにになると毎日遊ぶスペースが狭くなる。	発作があり、横になって休めるスペースを別に準備出来ていない。	お子さんの特性を理解はできていても特性に合った支援を理解できていない支援員がいること。
2	多動のお子さんには思うように身体を動かせない環境である。	重度のお子さんを支援できる職員が不足しており、支援の限界を感じております。	職員の研修を重ね、スキルアップが重要課題。
3	人手不足で、ぎりぎりの人員で支援を行っております。	求人はしているが、応募して来られる方がいない。	継続して求人を応募していく。